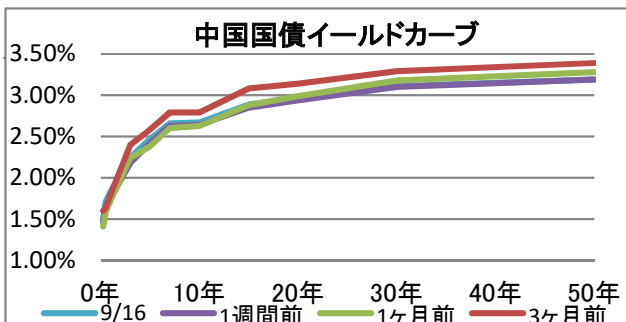
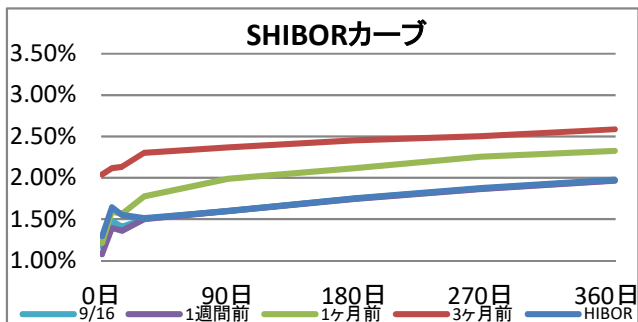


基準レート		2022/9/16	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.9305	+0.0207
	JPY/CNY	4.8561	+0.0323
SHIBOR	3M	1.5990%	-0.0010%
国債利回り	10年	2.67%	+0.03%
上海総合指数		3,126.40	-135.65



(1) 概況

国際金融市場では、予想を上回る米CPIを主因に金融引き締め加速とそれに伴う景気減速への懸念が再燃し、楽観的だった株式市場は大幅に調整し、債券利回りも大幅に上昇、外為市場ではドルが強含む展開となった。

中国金融市場では、ゼロコロナ政策や電力不足の影響が懸念された8月の経済指標は7月対比で改善していたものの、米金利上昇や元安等による資本流出懸念や不動産市況の低迷継続等から株式市場は下落に転じ、債券市場も四半期末を控えて上値重く利回り上昇が続いた。外為市場では、米CPI以降に一段と元安が進行し、基準レートの元高設定は続いているものの、中国本土市場でも節目と見られた1ドル7元台に乗せている。

中国では、習主席のコロナ蔓延後初の外遊やプーチン大統領との会談が注目され、李総理は、国务院常务会议で中小製造業に対する納税延長等の追加対策に加えて市場参入ネガティブリストの一段の推進や行政許可、政府の入札等に関する手続きや手数料の規範化と金融機関の手数料の市場化等を含む対応を決定。王毅國務委員兼外相は国交正常化50周年行事で日中関係構築に関する5つの視点を示した。人民銀行と銀保監会は、システム上重要な銀行19行を公表し、大手商業銀行は先月の最優遇貸出金利低下を受けて自主的に預金金利引下げを実施し、外貨管理局の報道官は企業に外為市場での投機的取引抑制を促し、商務部は、米国の追加関税延長決定に対し「高インフレで米企業・消費者により大きな損失」との意見表明。8月の債券通は、取引額が増加したが、海外投資家の保有高は7ヶ月連続の減少となった。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日100億元、MLF期日6,000億元に対し、新規リバースオペ80億元とMLF4,000億元(2.75%、前回同水準)により、2,020億元を回収。

(3) 主な経済指標

- ・**鉱工業生産(8月)**は前年比+4.2%(7月、同+3.8%)とプラス幅を若干拡大。政策支援により自動車関連が伸びを高める一方、ゼロコロナ政策や電力不足等の影響もあり建設資材関連や携帯電話、工作機械等の低迷が続いている。
- ・**小売売上高(8月)**は前年比+5.4%(7月、同+2.7%)と伸びを高めた。不動産販売低迷を受けた家具販売等の不振は続いているが、政策支援による自動車販売等の回復から商品販売が前年比+5.1%となったほか、飲食関係が前年不振の反動から同+8.4%と大幅なプラスに復したことが寄与。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.2940%	1.4000%	1.0000%	
1W	1.6430%	1.6000%	1.7000%	
2W	1.5520%	2.8000%	1.8500%	
1M	1.5110%	1.6500%	1.7800%	1.5900%
3M	1.5990%	2.3500%		1.6100%
6M	1.7520%		2.1000%	1.8300%
9M	1.8760%			1.9100%
12M	1.9770%	3.6000%		1.9900%

四半期末越えとなる1ヶ月の金利水準の上昇により、長めの期間の気配も上昇しているものの、ターム物は1ヶ月の1.8%前後での出会いを除き限定的。

NCDも四半期末や共産党大会を控えて引き続き動きは限定的であり、ターム物は1ヶ月が1.5%台後半、3ヶ月が1.6%前後、6ヶ月が1.8%前後、1年が1.9%台後半を中心に出合っている。

(2) 米ドル資金(本土内)

	BID	OFFER
ON	2.30%	2.32%
1W	2.40%	2.45%
1M	3.10%	3.20%
3M	3.60%	3.70%
6M	3.80%	3.90%
12M	4.00%	4.20%

米CPIの高止まりからFRBの金融引き締め加速懸念が高まり、ターム物の金利水準が25bp強上昇しているものの、引き続き短期取引中心でターム物は1ヶ月の3.2%近辺での出会いを除き限定的。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.49%		1.64%	1.73%	1.91%
6M	1.71%		1.85%	1.87%	2.06%
1Y	1.83%	1.96%	2.02%	2.04%	2.31%
3Y	2.25%	2.39%	2.46%	2.57%	2.97%
5Y	2.47%	2.65%	2.90%	2.92%	3.62%
10Y	2.67%	2.92%	3.26%	3.42%	4.19%

債券市場では、米CPI後にFRBの金融引き締め加速への懸念が高まり欧米債券利回りが上昇したことや、中国国内経済指標も改善傾向となったことから中国利率債利回りも上昇を続けたものの、四半期末を控えて変動幅は限定的。米国債利回りはFRBの積極利上げへの懸念から一段と上昇しており、10年米国債利回り（3.45%、+14bp）の中国国債利回り（2.67%、+3bp）の上回り幅は+78BP（前週+11bp）に拡大している。

四半期末を控えた短期に加え、国外投資資金流出による利率債利回り上昇が続いており、イールドカーブは全体的に上方にシフトする中でフラットニングが続いている。クレジットスプレッドは利率債の利回りの上昇により前週に続き縮小している。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	-14.0 / -13.9
1M	-61.0 / -60.0
3M	-261.5 / -260.0
6M	-612.0 / -608.0
9M	-967.0 / -962.0
12M	-1290.0 / -1285.0

対ドル基準レートは6.9305と前週末比+207pipsのドル高元安、対円基準レートは4.8561と同+323pipsの円高元安と、対ドルでは市場でのドル高元安を牽制する元高水準での設定が続いている。米CPIの高止まりを受けてオフショア市場では木曜日に節目として意識されていた7元突破し、中国本土市場でも金曜日に基準レートが前日比で大幅な元安方向で設定されたことを当局の元安容認と受け止めて、7元台に乗せている。

先物は、米国の金融引き締め加速への懸念から1年物が-1300手前まで低下している。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.81%		1.37%
6M	1.87%	1.81%	1.54%
9M	1.91%	1.95%	1.61%
1Y	1.97%	2.07%	1.67%
3Y	2.25%	2.54%	1.93%
5Y	2.47%	2.86%	
7Y	2.62%	3.05%	
10Y	2.76%	3.24%	

スワップ金利は、基準金利と利率債利回りの小幅上昇を受けた上昇が続いた。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドも小幅ながら拡大している。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。